

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	らいおんハート遊びリテーション児童デイ北砂		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 2日		～ 2026年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	(児発) 31名 (放デイ) 34名	(回答者数) (児発) 14名 (放デイ) 22名
○従業者評価実施期間	2026年 3月 9日		～ 2026年 3月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	(児発) 4名 (放デイ) 4名	(回答者数) (児発) 4名 (放デイ) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	集団活動及び個別活動のどちらも子どもたちが楽しみながら学び、成長できるような支援を心掛けている。	何を行うにしても、まずは「楽しい」と感じてもらえるように工夫しています。そのためには支援する職員が楽しむことを意識して活動を行っています。	子ども達に「自分でできた」の経験をたくさん積んでもらえるように、「褒めること」を全職員が意識し、楽しみながら支援を行っています。
2	楽器のできる職員が数名いるので、簡単な演奏会や合唱を行ったり、一緒に楽器を持ち音を鳴らしてリズム感を養うなど、音楽を楽しむ機会を設けることができる。	これまでにギター・バイオリン・ピアノ・ウクレレ・ミニハーモニカ・ハンドベルの楽器を使って童謡の演奏会を行いました。普段落ち着いた児童も音に耳を傾けることができたので、機会を増やしていきたいと思っています。	今後は聞くだけでなく、児童も一緒に楽器を鳴らして興味の幅を広げていきたいと思っています。音楽を通じて、リズム感を養ったり、力の加減を学ぶ機会となるよう取り組んでいきたいと考えています。
3	活動プログラムをチームで立案し、全スタッフが活動内容を考えていく仕組みができています。	ご利用のある児童に合わせて取り組む活動を設定するほかにグループ分けや難易度設定、また同じ活動でも児童によって目的を変えながら考えています。	プログラムが固定化されないように、新しいことに挑戦していきたいと思っています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流が少ない。	地域が行うイベントの情報収集ができていないと感じます。また、地域資源の理解も上げていく必要があると思っています。	事業所で開催するイベントへ地域の方を招いたり、地域イベントへの参加を増やしていきたいです。
2	保護者様への情報共有が不足している部分がある。	避難訓練など実施していても、保護者様への共有ができていない部分が多くあると感じます。	HUGのお知らせ機能やHPを上手く活用して、情報共有に努めていきたいと思っています。
3	これから利用を検討する保護者様に対し、事業所の取り組みを知ってもらうツールが少ない。	SNS活動が少ないので、目につく機会が少ないと感じます。	これからはHPのブログを利用し、事業所の取り組みを知ってもらう機会を増やしていきたいと思っています。